

開講日	2025年秋期 木曜日18:30(出発時刻)~20:00(到着予定時刻)	講義場所 受講資格	受講条件:周産期プロバイダー (分娩に携わる全ての職種メンバー) Webレクチャーに対応できる方
コースディレクター (ツアーコンダクター) CD	名古屋市長大学院看護学研究科 性生殖看護学・助産学 教授 尾崎康彦		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】分娩は“十人十色”ですが、共通する願いは一つ。それは“安全で安心なお産”です。令和の時代になり、またさらにコロナ禍において少子化の歯止めが効かない日本でも、ハイリスク分娩は確実に増加しています。ひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、常に進化しより濃厚なものになっています。世界に誇る高いレベルの日本の周産期医療を維持してさらに向上させるためには、分娩に携わる医師、助産師、看護師、救急救命士、薬剤師や心理士らがよりハイレベルの知識と技術を身につけ“チーム医療”を構築することが重要です。今回初めてツアーに参加される方や更なる“極み”や“深み”や“高み”を追求したい“常に一歩前に突き進む！前のめりな”リピーターの方々にも必ず満足していただけますよう、今年度も“ここでしか言えない、後世に伝えたい症例”を随所に織り込み、汗をかいでいただきながらストーリーを展開させます。日常の周産期現場のライブ感溢れる「Birth Tour 2023」へようこそ。物語を完成させるのは貴方です！今年もスタッフ一同、新企画を準備して皆様のパッションに応えるべく、ご参加をお待ちしております。尚、例年お馴染みの「見切り発車オーライ！」に加えこのご時世です。ツアープラン、オプションツアーやバースプランは予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい。開始時間は集合時間ではありません。出発時間は厳守です。しっかりと準備し、そして振り返りながら木曜日ゴールデンタイムの熱い夜のオールスターキャストをお楽しみ下さい！ 【期待される成果】日本は依然として深刻な産婦人科医師や助産師などの産科プロバイダー不足の状態です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援する（背中を押す）ことを目標とします。また助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで、不足する産科医と協力しサポートし合うことができます。院内助産所（バースセンター）の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救急救命士が妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。周産期医療従事者の“サロン”的な場を提供します。是非、お仕事の合間の「タ活」にお役立て下さい。このツアーを切り口に、さらなる周産期教育のコミュニティが“時空を越えて”形成されています。“地域のお産を守る！”ためにも、今年も“安全なお産をめぐる冒険”はさらにパワーアップ！アロングランを刷新します 将来NCPR(新生児蘇生法:日本周産期・新生児医学会)やBLSO・ALSO Japan、J-CIMELSなどの講習会を受講し資格の取得を目指す方や、振り返りをしたい方に役立つ内容を盛り込んでいます。
目標とする 資格	

サブカテゴリー	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1, D-1	1	現在調整中です		9月4日	
L-2, RHO-1	2			9月11日	
L-3, D-2	3			9月18日	
L-4	4			9月25日	
L-5, RHO-2	5			10月2日	
L-6, RHO-3	6			10月9日	
L-7, VR	7			10月16日	
L-8	8			10月23日	
D-3	9			10月30日	
L-9, RHO-4	10			11月6日	
L-10	11			11月13日	
D-4	12			11月20日	
D-5	13			11月27日	
L-11	14			12月4日	
L-12	15			12月11日	